委員会審査

6月定例会で各委員会に付託された議案について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長　児玉　康比古

◆女性活躍の推進、人材育成事業について

説明　市内で活躍する女性を紹介する番組を制作し、ケーブルテレビやYouTubeを利用して情報発信することで、本市の女性の活躍の推進と地域を担う人材育成に向け啓発を行うもの。

問　**紹介される女性の人数と候補者の基準について**

答　紹介人数は5名を予定しているが、候補者はこれから検討を進めていきたい。また、候補者基準は5項目を予定し、1つ目は社会貢献活動をしておられる方、2つ目は医療関係で活躍されておられる方、3つ目は青年海外協力隊など海外で支援協力活動を経験された方、4つ目はまちづくり関係の方、5つ目は福祉事業関係の方を想定している。

意見　限られた予算で最大の効果を得るために、委託業者とコミュニケーションを図りながら、内容の充実に努めていただきたい。

◆大洲市民文化会館（仮称）建設事業予定の用地取得に関する協定の締結について

説明　大洲市民文化会館の整備は、建設検討審議会による建設候補地の答申を受け準備しているが、用地取得に係る土地売買契約を円滑に進めるため、愛媛たいき農協と用地取得に関する協定を締結するもの。

問　**事業スケジュールによると建設用地の購入契約は令和6年度の予定となっているが、本市の財政状況などを考慮しての計画か。**

答　今年度、基本構想及び基本計画に着手しているが、その後の基本設計や事業認定申請等の手続を行い購入可能となることから、現在のところ令和6年度の予定としている。

意見　今後、用地取得の契約に際し、当初の目的が達成されるよう十分考慮しながら進めていただきたい。

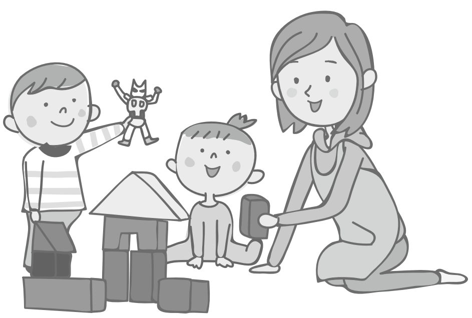
厚生文教委員会

委員長　東　久延

◆地域型保育施設運営経費について

説明　市内の2歳以下の児童を対象とした地域型保育事業のうち、小規模保育所の事業を開始しようとする事業者に対する施設改修費や事業運営に係る給付費を予算計上している。開園予定の保育所の定員は0歳児3名、1歳児4名、2歳児5名の計12名の予定で、10月の開園を目指しており、待機児童の解消の一助になるものと考えている。

問　**公立の保育所は0歳児の入所は難しいものと認識していたが、新たに整備される保育所は入所に何か特別な要件があるのか。**

答　市内の公立私立の保育所等と同等の取扱いとなる。開所後は、市からの施設に対する給付費の支払いや、入所方法についても市への保護者からの申し込みにより希望する保育所を決定するもので、特別な要件を求めているものではない。

意見　本市で初めて実施する事業であり、補助等が大変手厚いが、今後も新規事業者の参入が予測されることから、税金を投入することなので事業費の精査をしっかりと行ってほしい。このような施設ができることを否定するわけではないが、既存の施設や設備の利活用についても引き続き検討いただきたい。